

# まごころ

## 第52号

発行日 平成23年10月1日  
 発行 星が丘地区社会福祉協議会  
 相模原市中央区星が丘3-1-38  
 星が丘公民館内  
 TEL 042-755-9955  
 編集 広報紙編集委員会



模擬店



模擬店



赤い羽街頭募金



ペットボトル・プルタブ回収



凧づくり



グラウンドゴルフ

# 地域の力

① 5月15日 チャリティ広場  
 ② 10月16日 星が丘地区ふれあいフェスティバル  
 ③ 11月6日 第25回福祉バザー  
 ④ 3月4日 星が丘公民館祭

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

二つ目は、今まで市民会館で行われていた敬老会を、今年度より地区ごとに開催することになりました。星が丘地区の場合は、地区社協、地区自治連、地区民児協、地区老連の各代表が協議の結果、地区社協が中心となって行うことになりました。

そこで当会の「あり方検討委員会」で敬老事業の内容の原案を作成し、理事会上に諮り、次のように決定致しました。

① 敬老事業対象者は、70歳以上77歳未満のひとり暮らしの方と、77歳以上の方です。対象者の皆様には、本会の委員である民生委員がご自宅を訪問して、お祝い品と敬老会のご案内をお届けいたしました。

② 敬老会は公民館の大会議室で映画会を実施します。三つ目は、東日本大震災復興支援にも取り組みます。本会は積極的に義援金に協力する予定です。次の事業では、地区社協として出店する模擬店の収益を義援金とします。

### さらなる地域福祉の増進を目指して

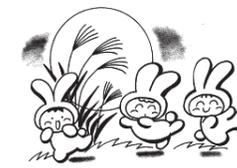
星が丘地区社会福祉協議会  
 会長 野中敬一

星が丘地区の皆様には日頃より地区社協の諸活動に対し、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。今年度はさらなる地域福祉の増進を目指して次の三つを柱とした活動を行っております。

一つ目は、会則の改訂です。会長を補佐する副会長を一名増員して三名とし、また委員制度を設けました。特に地域福祉活動に関わりの深い、自治会長、民生委員・児童委員は全員が委員として社協事業に協力していただくことになりました。こうすることによって、よりきめ細やかな活動が期待できるからです。

## これからの事業予定のご案内

		参加自由	場所	星が丘公民館
みんなのつどい	福祉学習会	10月15日(土)	9:30~12:00	健康落語 ~楽しく笑って元気になろう~ 講師 古橋彰先生(横浜市非常勤医師)
	フェスティバル	11月26日(土)	10:00~12:00	フラワーアレンジメント・エコバッグ作り・ グラウンドゴルフ・まつぼっくりツリー・凧作り ペットボトルキャップ・プルタブ回収 ★子どもから高齢者までふれあいを楽しむ行事です★
	映画	3月25日(日)	9:30~12:00	内容は1月以降の地域情報誌をご覧ください。
街頭募金	10月1日(土)	16:00~17:30	オーケー相模原店・業務スーパー	
福祉バザー	11月6日(日)	10:00~13:00	地域の皆様のご協力でお安くご提供します。	
広報紙発行 (年2回)	10月1日(土)	まごころ52号発行		
	4月1日(日)	まごころ53号発行		



### 変更のお知らせ

51号3Pに掲載した  
 こども家庭支援センター  
 は、中央子ども家庭相談  
 課に変わりました。

☎ 769-9221

## キャップ・プルタブ回収散

	23年4月 ~23年9月	19年8月~累計
ペットボトル キャップ	103.8kg	1,301.1kg (ワクチン約650人分)
プルタブ	7.5kg	179.7kg (約ドラム缶1本)

・ペットボトルキャップは1kg(約400個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり発展途上国に送られます。  
 ・プルタブはドラム缶約7本で車椅子一台と交換できます。

### 賛助会費経過報告(9月16日現在)

九〇八、四〇〇円  
 一、〇六七、八〇〇円

ご協力をいただき  
 ありがとうございます。

## 編集後記

3月11日東日本大震災が発生し地震による直接の被害よりも、その後に起きた大津波で東北地方各地は甚大な被害を受けました。更に翌日からは、東京電力福島第一原子力発電所で次々と水素爆発が起き、放射能が各地に降り注ぎました。

我々の住む星が丘地区も地震発生時には激震に見舞われ多くの人が戸外に避難したと思われまふ。

その後も福島原発は沈静化していかないこともあり、何か不安な生活が続いています。

10月以降も地区敬老事業、福祉バザー及びみんなのつどいなど事業も盛り沢山です。大地震に負けないで元気で明るい星が丘地区を盛り上げてゆきましょう。

被害にあわれた東北地方の皆様には心からお見舞い申し上げます。(鈴)

## 編集委員紹介

- 鈴木末廣 (福祉経験者)
- 小林茂夫 (民生・児童委員)
- 内田涼子 (民生・児童委員)
- 奥山憲雄 (星が丘公民館)
- 阿部美雪 (障害者福祉施設)
- 前川寿恵 (星小PTA)

# 敬老事業変更のお知らせ

## 一 今年度敬老事業について

今年度から敬老事業が一部変更されました。昨年度までは、相模原市が敬老祝い金の給付と市民会館で敬老会を開催してまいりましたが、敬老会については、場所が遠くて参加できない、参加者が少ない等の課題が出ておりましたので、市が数年かけて検討した結果、今年度からは地域の皆様により身近で、参加しやすく、地域に密着した事業が開催できますよう市内各地区が受け持つことになりました。

## ○映画会の開催

敬老対象者全員の方々を対象に星が丘公民館で映画が開催されます。なお、上映後には、お茶会（無料）も開催されますので、お友だちや久しぶりに会われた方々との親交を深めてみませんか？

ご都合のよい日時にご参加ください。

## 三 映画会について

### ☆「ひばり・チエミのおどり千両傘」

10月7日（金）

第一部 午前9時30分開場

第二部 午後1時30分開場

### ☆「水戸黄門漫遊記 森繁久彌 主演」

10月25日（火）

第一部 午前9時30分開場

第二部 午後1時30分開場

## ☆会場

星が丘公民館大会議室

多くの方々のご参加をお待ちしております。

なお、駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

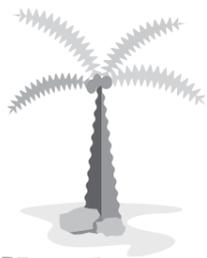
（一）敬老祝い金の給付  
平成23年9月15日現在 77歳、80歳、88歳、90歳、95歳、99歳、100歳以上の方々に給付されます。

## ○敬老祝い品の配布

平成23年4月1日現在70歳以上のひとり暮らしの方及び77歳以上の方に敬老祝い品を配布します。敬老祝い品はすでに9月上旬に民生委員が、敬老祝い金と一緒にお届けさせていただきました。

皆様におかれましては、ご長寿誠におめでとうございます。今後ますますお元気に過ごされますよう、心よりお祝い申し上げます。

# 子育てサロン、いっしょに遊んで来ませんか？



おっとり座ったまま周りのおもちゃで遊んでいる子、活発に走り回っている子、おもちゃを取り合って泣いたり、絵本を読んだり、どの子の表情もしくさも、とっても可愛い子育ての時期……。入園前の子どもにとって、沢山のお友だちと交わって過ごすことはとっても貴重な体験です。

でも、育児をしているお母さんやお父さんには、可愛いとばかり言っていないで大変な時期でもありませんね。

こんな時、同じ思いのお母さんたちとおしゃべりをしたり、子育ての先輩のお話を聞いたり、子育てサロンで楽しいひと時を過ごしませんか？



子育てサロン 星が丘にて

子育てサロンの運営は、星が丘地区の民生委員を主体に無料で行っています。現在、サロンは星が丘・千代田・横山で開催しています。（時間はいずれも午前10時～11時30分）

○星が丘・毎月第二水曜日

星が丘公民館

二葉園の先生が、紙芝居や手遊び体操をして遊んでくれます。

○千代田・毎月第三水曜日

千代田四丁目自治会館

○横山・毎月第四水曜日

横山六丁目集会所

お休みの月もありますので、公民館、こどもセンター等においてある子育てサロンの日程をご覧ください。

また、星が丘では、秋頃防災に関する話し合いなども考えています。

ぜひ、子育てサロンにご参加下さい。



# 星が丘地区社協の運営組織

災害時に助け合える福祉のまちをめざして

星が丘地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）は、地域住民同士が支えあい、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して様々な活動を展開しています。

平成23年度の地区社協の組織体制は次のとおりです。（順不同敬称略）

- 〔役員〕
  - 〔会長〕 野中敬一
  - 〔副会長〕 竹田幹夫・杉崎正子
  - 〔会 計〕 鈴木末廣
  - 〔会 計 監 査〕 吉川順一・岩淵良子
  - 〔理事〕 岡崎繁和・清水ミヨ
  - 〔自治会連合会〕
    - 竹田幹夫・坂本洋三・大村正夫
    - 民生委員・児童委員協議会
    - 吉川順一・小林茂夫・内田涼子
    - 〔公民館〕 奥山憲雄
    - 〔老人クラブ連合会〕 鈴木 巖
    - 〔子ども会育成連絡協議会〕 藤澤重治
    - 〔青少年健全育成協議会〕 川口流美子
    - 〔PTA〕 前川寿恵
- 〔委員〕
  - 〔自治会連合会〕
    - 竹内建二・布川悦子・中村悦子
    - 宮本弘文・鹿俣克美・蔭山 肇
    - 新田 隆・内海秀男・中原庄三郎
    - 西田昌子・井村泰子・齊藤末治
    - 高橋 強・下村 宏
    - 長谷川カシ子・清水ミヨ
    - 遠藤志津子・三浦洋子・伊藤静江
    - 豊田里美
  - 〔民生委員児童委員協議会〕
    - 原 由子
    - 田中和子
    - 山口睦子
    - 山下善子
  - 〔障害者福祉施設〕 阿部美雪
  - 〔高齢者福祉施設〕 小林 功
  - 〔児童福祉施設〕 内田一ト
  - 〔小学校〕 宮崎英寛
  - 〔福祉経験者〕
    - 石黒雄彦・岩淵良子・上田忠男
    - 小泉 博・佐藤 宏・杉崎正子
    - 鈴木末廣・野中敬一

7月15日（金）、理事視察研修で法政大学ボランティアセンターに伺いました。学生ボランティアとして地域とつながりを持ちながら、共に課題を解決している様子を聞き、理事からは「私たちの地域の課題についても学生の意見が聞きたい」との意見が出されました。

これを受け、7月24日（土）、法政大ボラセンの学生6名と職員石野さんが星が丘を訪れ、祭典を見ながら地域の様子を理解していただきました。

祭典見学後、公民館で理事との話し合いを持ちました。理事からは「行事の担い手が固定化・高齢化している」「若い人の意見を活かした行事を企画したい」等、現在の地域の課題を伝えました。

学生たちからは「地域の活動に私たちのようなボランティアが入ることで今までとは違った動きが見られたことがある」とか「私たちが長期間にわたり関わることで、成果が少しずつ見え始めた地域もある」との話を聞くことができ、とても頼もしく感じました。

「私たちは、このようなボランティア活動を通して、教室ではできないことを沢山学んでいます」との話しに、「これからはがんばって」「応援しているよ」と伝えながらお別れしました。

今後もこのような学生との交流が続けられれば大変うれしく思います。

## 法政大学・ボラセン学生と交流